

令和7年度 第2回

福祉介護人材確保に向けた 検討部会

令和8年2月13日（金）
～文化センター 小会議室～

本日の流れ

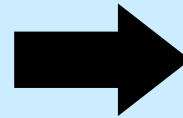
- 1 第1回部会の振り返り
- 2 令和7年度の実組みについて
- 3 今後の実組みについて（協議）

第1回部会の 振り返り

テーマ 1 【雇用】

①人材の新規確保について
具体性を持たせる。

②効果的な対応策を検討し、
対策実施を目指す。



アンケート調査
介護職員必要数の算出

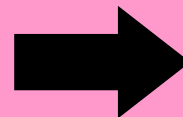


ターゲットを絞る

テーマ 2 【定着】

①限られた人材での業務効
率化を促進する。

②環境整備対策等による効
果的な対応策を検討する。



職場の環境改善等を
ベースにした
研修開催

令和7年度の 取組みについて

アンケート調査結果の概要

高齢

【回答率】

41.0%

【調査結果の概要】

- ・ 職員が常に不足していると回答したのは、全体の「6.0%」
⇒そのうち最も割合が高かったのは、訪問系サービス
- ・ 必要とされる人員で最も多かったのは「訪問介護員」次いで「資格ありの介護職員」
- ・ サービス提供に必須ではないが、事務員の需要が一定数ある

障がい

【回答率】

16.4%

【調査結果の概要】

- ・ 職員が常に不足していると回答したのは、全体の「5.0%」
⇒そのうち最も割合が高かったのは、訪問系サービス
- ・ 必要とされる人員で最も多かったのは「居宅介護職員」次いで「児童指導員」
- ・ サービス提供に必須ではないが、事務員の需要が一定数ある

研修等の実績

【高齢・障がい】

- ①生産性導入支援研修
- ②アンガーマネジメント研修
- ③介護職・看護職向けコミュニケーション研修 **実施予定**

【高齢】

- ①介護施設等危険予知訓練研修
- ②エルダー・メンター制度導入研修 **実施予定**

【障がい】

- ①チームビルディング ～モチベーションの高い職場づくり～
- ②これからサビ管・児発管・相談支援専門員になるあなたに
～4月からの支援のために～ **実施予定**

【その他】

学生を対象とした出前講座

【高齢・障がい】生産性向上導入支援研修

【実施日】

令和7年11月18日（火）

【講師】

(株)NTTデータ経営研究所

【参加者数】

110名（セミナー：40名 機器展示：70名）

【共催】

一般社団法人ふくしま医療機器産業推進機構

【実施内容】

介護ロボット、センサー、ITC等のテクノロジーを活用した**最新機器の展示**、**生産性向上の背景や取り組み方法に関するセミナー**

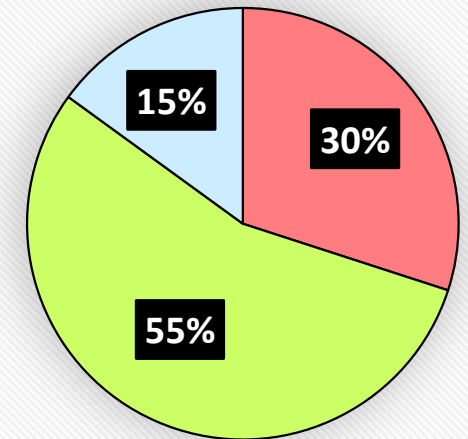
【市の所感】

参加者から「生産性向上の意識を高め、進めていく必要があると感じた」との意見が上がった。

人手不足となる時代背景を考えると生産性向上は今後必須となってくるので継続した取組が必要である。



【参加満足度】



■とても満足 ■満足 ■普通

【高齢・障がい】アンガーマネジメント研修

【実施日】

令和7年12月9日（火）

【講師】

アイエムエフ株式会社

【参加者数】

136名（68名×2部）

【実施内容】

怒りがなぜ起きるのか、トラブルにならないためにはどうしたらいいのかを理解し、**建設的な問題解決**に向かうための方法を学ぶ。

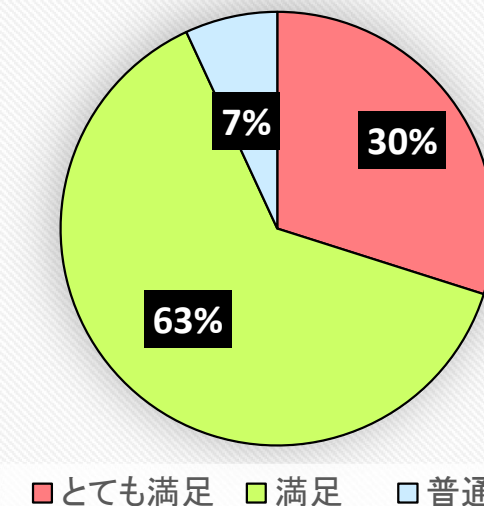
【市の所感】

「怒りの感情」について理解を深めるとともに、他の事業者と悩みを共有・共感する機会となったようである。

参加者だけでなく、自身の事業所に帰ってからも研修に生かすとの声が多かったことから多くの方の業務に活かせる研修となったと思う。



【参加満足度】



【高齢・障がい】介護職・看護職向けコミュニケーション研修

【実施日】

令和8年2月6日（金）

【講師】

株式会社インソース

【参加者数】

40名

【実施内容】

利用者・家族との良好な関係を築くために**必要なコミュニケーションスキル**について、ロールプレイングも取り入れながら実践的に深く学ぶ。

実施予定

＜必要なコミュニケーションスキルとは＞

- ・求められるコミュニケーション力
 - ・傾聴力
 - ・質問力アサーティブコミュニケーション
- など

介護職・看護職向けコミュニケーション研修



聴くスキル
訊くスキル

令和8年2月6日（金） 10:00-17:00（休憩1時間）

会場 文化センター1階 大講義室 定員 40名（先着順）

利用者様、入所者様とのコミュニケーションをうまくとりたい方	クレームがあっても納得いただく伝え方ができるようになりたい方	後輩指導にも活かせるコミュニケーション力を身に付けたい方
-------------------------------	--------------------------------	------------------------------

対象者 市内の介護・障がい事業所に勤務している介護・看護職	申込方法 申込フォームはこちらから ▶▶▶ 締切：令和8年1月28日（水）
----------------------------------	---

いわき市保健福祉部高齢福祉課介護サービス整備係 TEL 0246-22-7467



【高齢】介護施設等危険予知訓練研修

【実施日】

令和7年7月18日（金）

【講師】

あいおいニッセイ同和損保

【参加者数】

120名（午前56名、午後64名）

【実施内容】

介護現場に潜む危険性を見つけ出し対策を講じる訓練を行うため、グループワークを実施。
介護現場の**事故防止**に繋がるとともに、事業者同士の**繋がり作り**のきっかけとなる。

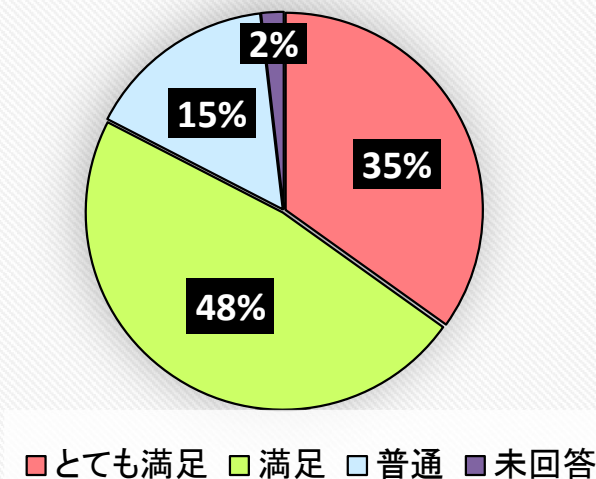
【市の所感】

他事業所、他サービスの従業者と意見交換をすることで着眼点の違いや施設毎の取り組みについて知ることの良い刺激となったとの声が多かった。

研修内容だけでなく、同じグループの中で交流が促進されており、横の繋がりを作るきっかけとなった。



【参加満足度】



【高齢】エルダー・メンター制度導入研修

実施予定

【実施予定】

令和8年2月27日（金）

【講師】

特定非営利活動法人 町田市つながりの開

【参加予定者数】

100名

【実施予定内容】

エルダー・メンター制度導入に係る役割・企画立案・コーチング・傾聴等の基礎スキルの習得、職員の率直な対話関係を目指し相互理解を深める研修を実施する。

＜エルダー・メンター制度とは＞
上司ではなく、**新人職員にとってより身近な先輩職員が「技術・メンタル・キャリア形成」などの様々なサポートを行う制度**



【障がい】チームビルディング ～モチベーションの高い職場づくり～

【実施日】

令和7年10月24日（金）

【講師】

いわき基幹相談支援センター、(株)tenki

【参加者数】

23名

【実施内容】

働きやすい職場環境を作るための研修であり、演習を中心に実施した。

【市の所感】

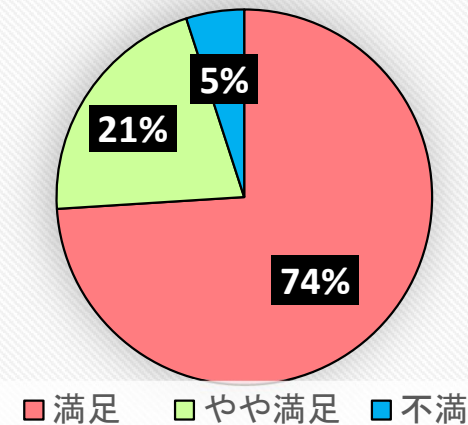
組織内でチーム作りを担う中堅職員や管理者クラスが多く参加した。

支援に直接関連のある研修機会は毎年実施しているものの、組織の風土に関する学びの機会は少なく、今回の研修は参加者の満足度が高い傾向にあった。

また、自身の組織を見直す機会ともなったようである。



【参加満足度】



【障がい】これからサビ管・児発管・相談支援専門員になるあなたに
～4月からの支援のために～

【実施予定】

令和8年2月25日（水）

実施予定

【講師】

いわき基幹相談支援センター

【参加予定者数】

30名

【実施予定内容】

対人援助での基本となる「インテーク及びアセスメント」について、演習に取り組み、ニーズ整理の基本を学ぶ研修

＜インテークとは＞

介護現場等で相談者を行う初回面談のこと

＜アセスメントとは＞

対象者の現状・課題・価値観等について分析すること

いわき市自立支援協議会 人材育成部会主催

相談支援従事者向け
サビ管・児発管・相談支援専門員

フォローアップ研修

対人援助での基本となるインテーク・アセスメントについて、演習に取り組み、ニーズ整理の基本を学ぶ研修です。

対象者：令和7年度に相談支援従事者（障がい者ケアマネジメント）養成研修（サービス管理責任者等基礎研修、相談支援専門員初任者研修）を受講した者

これからサビ管・児発管・相談支援専門員になるあなたに

参加費 無料

4月からの支援のために

アセスメントってなに？
最初のクライアントとどう向き合うか
対人援助の基本的な視点

2026年
2月25日（水）
13:30 - 17:00

講師
淨土 洋輔
主任相談支援専門員

特定非営利活動法人地域福祉ネットワークいわき
いわき基幹相談支援センター
福島県相談支援専門員初任者研修 統括講師

いわき市中央台公民館 大会議室
※受付 13:00～

【その他】学生を対象とした出前講座

●高齢福祉課

【内 容】 インスタントシニア体験、車いす体験

【実 施】 5校（高校 0校、中学校 3校、小学校 2校）

【参加者累計】 345名（高校生0名、中学生167名、小学生178名）

●障がい福祉課

【内 容】 身体障がい者体験、補助犬

【実 施】 7校（高校 0校、中学校 3校、小学校 4校）

【参加者累計】 660名（高校生0名、中学生449名、小学生211名）

●地域包括ケア推進課

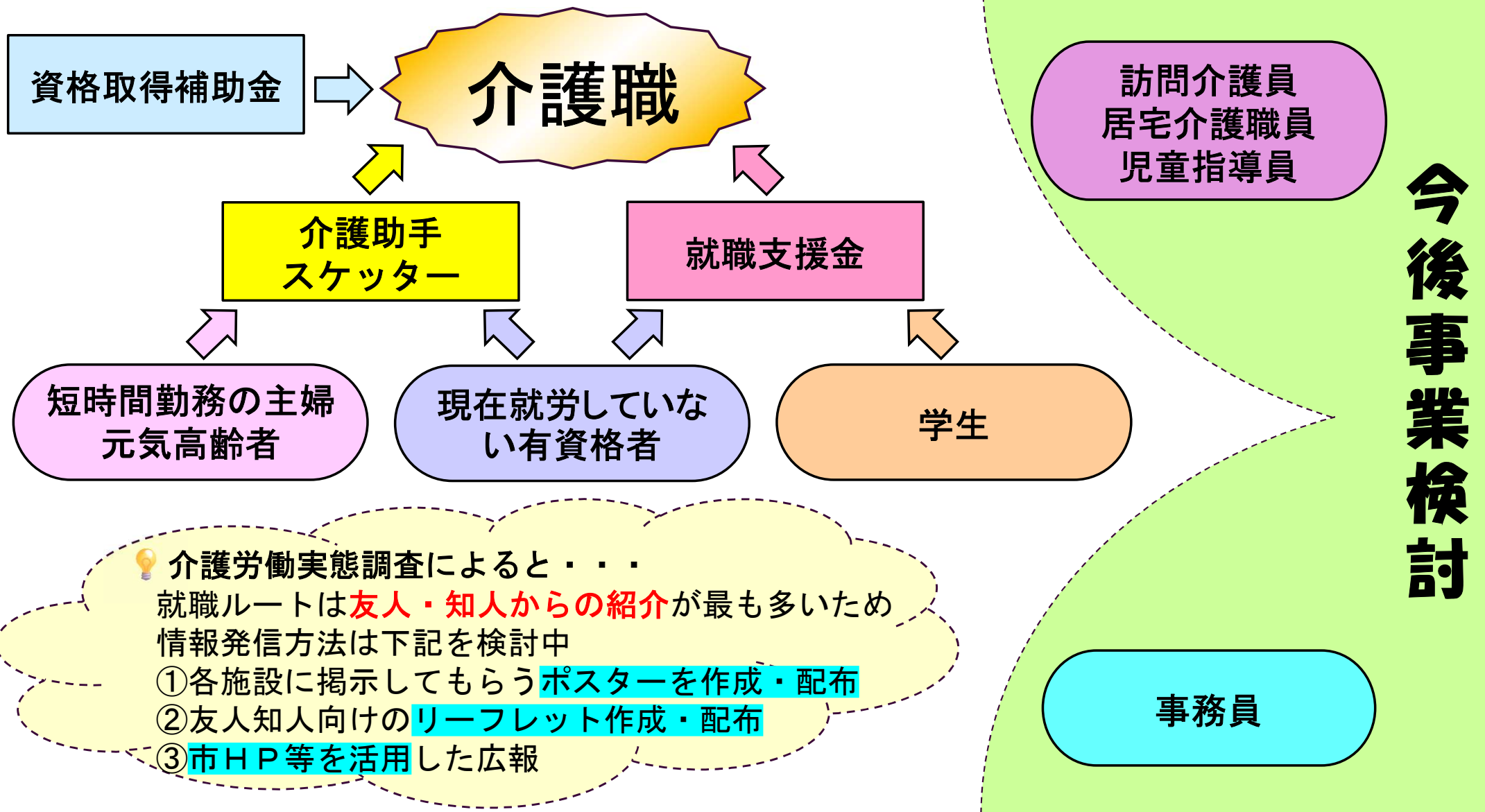
【内 容】 認知症サポーター養成講座、シルバーリハビリ体操

【実 施】 10校（高校 3校、中学校 1校、小学校 6校）

【参加者累計】 251名（高校生25名、中学生26名、小学生200名）

今後の 取組みについて (協議)

アンケート結果から検討した事業の展開イメージ



就労支援金・資格取得支援

【就労支援金】

「学生」「介護に従事していない有資格者」を対象に、支援金を給付する。

他業種から戻ってきた有資格者も対象とし、柔軟な支援金としたい。

【資格取得補助金】

資格ありの介護職員の需要が多いこと、またステップアップの機会として下記の研修受講について補助金を給付する。

- ・ 介護職員初任者研修
- ・ 介護福祉士実務者研修

介護助手について

【今後想定される事業】

- ①介護助手が活躍する事業所へヒアリング
- ②導入運営マニュアルの作成、説明会、補助金の整備検討

元気高齢者・短時間勤務の主婦の介護業界への第一歩 



介護助手の普及

介護助手から介護業界に参加し、介護職となることが介護人材確保へつながる

介護助手＝介護職員の負担軽減の側面を持っている

人材不足の根本的な解決手段ではない
介護人材が代替可能と認識されかねず、介護職軽視に繋がる恐れがある

その他の提案

福祉体験(出前講座)の拡充について

現在「出前講座」として行っている福祉体験の対象は**小中学生まで**である。

しかし、福祉の仕事についた人の「3割※」は小中高生時代に進路を決めていることから対象を高校生まで拡充したい。

※令和2年度福祉施設・事業所職員就労意識調査（出典：福島県社会福祉協議会）

情報発信方法の見直しとして、現在の広報いわき等への掲載に加え学校に直接**周知**できるような方法を検討したい

検討してもらえる余地はあるのか？

どのような方法であれば
取組みを検討してもらえるか？



人材定着に資する研修案について

来年度に行う研修案についてご意見ください

研修後のアンケート調査による受けてみたい研修

運営

感染症対策
生産性向上
業務継続計画

技術

意思決定支援
吸引
自立支援
誤嚥誤薬予防
レクリエーション技法

知識

電話対応
接遇マナー
人との付き合い方
意見や気持ちの伝え方
不安の対処法

メンタルヘルス

生産性向上

アンガー
マネジメント



ハラスメント

コンプラ

危険予知

